



# 鶴林

1月



第429号

平成27年1月1日  
社会福祉法人 鶴林園

〒675-0303 兵庫県 加古川市

志方町 細工所 1086番地

TEL 079-452-0524

FAX 079-452-2461

http://www.kakurinen.or.jp

Eメール info@kakurinen.or.jp

旧年中は格別のご厚情を賜り厚く御礼申しあげます  
本年も相変わりませずご厚誼のほどお願い申しあげます

平成二十七年元旦

社会福祉法人 鶴林園

利用者 一同

役職員 一同



## ★理事長の問わず語り★

### 「私の初夢・・・諸悪莫作 衆善奉行」

ある時、白樂天が道林仏光に「仏法の大意とはどのようなものですか」と質問した時、仏光は「悪いことはせず(諸悪莫作)、善いことを行う(衆善奉行)ことです」と答え、白樂天が「もしそのようなことであるならば、そんなことは三歳の子供だって言えることじゃありませんか」と言ったところ、仏光は、「三歳の子供が言えたとしても、八十歳の老人でも行うことが出来ないのです」と言いました。

すると、白樂天は礼拝してその場を立ち去った。(創元社 日本人のこころの言葉「道元」より)  
キリスト教でも「主の祈り」の中に、「悪よりお救いください」という一節がある。

いったい善とは何なのでしょう。悪とは何なのでしょう。

先日、テレビでこんな光景が放映されていた。インド北部の駅で、一匹の猿が感電して地上に叩きつけられた時、直ぐに仲間の猿が近寄ってきて、叩いたり、噛みついたり、果てには側溝の水中に落としたり引き上げたりしていたところ、暫くすると仮死状態の猿が気を取り戻したのである。どうなることかと見ていたプラットホームの人達は拍手をしてその善行を讃えた。私も素晴らしい事だ、もしかしたら親子の猿ではないかなどと空想したりしていた。

ところが、驚いたことに、猿にはそのような人助けの習慣は無いという反論が出てきた。それではあれは一体何だったのだろうか、夢か幻の世界だったのだろうか。

このように、物事に対する見方や考え方が違ってくる、善や悪の捉え方や意味合いも違ってくるものだろうか、違っても良いものだろうか。

それでは真実の、不動の善と呼ばれるものは、どこにあるのだろうか。

これだけ文明や文化が進歩しているというのに、なぜ悪がいつまで経っても滅ばないのか。宮澤賢治の「ジブンヲカンジ ヨウニイレズ」の世界は、いつ作り上げることが出来るのか。

他人は馬鹿だと思っても知れないが、私はこの馬鹿な夢をいつまでも見続けていたい。

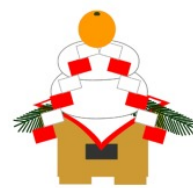


新春生け花  
(吉田憲二先生)



# デイ・センター

# 1月のお楽しみ



# 養護



- 5日(月) 新年初笑い 演芸の日
- 6日(火)～9日(金) 初詣
- 10日(土) 獅子舞披露会
- 12日(月) 初詣
- 13日(火) 新春紅白対抗 流鏑馬合戦
- 14日(水) 風船羽根つき大会
- 15日(木) 獅子舞披露会
- 16日(金) 風船羽根つき大会
- 17日(土) ゴッドアイ作り
- 19日(月) 手作りおやつ 白玉ぜんざい
- 20日(火) 音楽療法 川鶴先生来園
- 21日(水) 園芸クラブこだわり野菜  
ホッコリ炊き出しの日
- 22日(木) 新春紅白対抗 流鏑馬合戦

- 23日(金) 歌・ギター演奏  
シルバースターズ様来園
- 24日(土) ふれあいの日
- 26日(月) 歌・踊り等  
傘踊りの会様来園
- 27日(火) 風船羽根つき大会
- 28日(水) 手作りおやつ 白玉ぜんざい
- 29日(木) ゴッドアイ作り
- 30日(金) 園芸クラブこだわり野菜  
ホッコリ炊き出しの日
- 31日(土) ふれあいの日

毎週土曜日 **福笑い・コマ回し**  
**カルタ取り・書初め**

## 特養

- 1日(木) 新年祝賀会
- 1日(木)～3日(土) 新春喫茶
- 7日(水) 初詣(鶴林神社)
- 13日(火) 音楽セラピー
- 21日(水) 誕生パーティー  
祝膳の日
- 23日(金) アニマルセラピー
- 27日(火) 音楽セラピー



第2～第4土曜日 **喫茶**  
毎週土曜日・日曜日 **レクリエーション**  
第1～第3日曜日 **出張理美容**

- 1日(木) 新年祝賀会
- 1日(木)～3日(土) 新春喫茶
- 5日(月) ふれあいタイム
- 6日(火)・7日(水)・9日(金)・13日(火)  
初詣
- 6日(火)・16日(金) 衣類販売
- 10日(土)・24日(土) 出張パン販売
- 21日(水) 誕生会
- 24日(土)・25日(日) アクティブクラブ
- 30日(金) 新春カラオケ大会

毎週水曜日 **書道クラブ**  
毎週土曜日 **喫茶**  
第2・第4火曜日 **大正琴クラブ**  
第2～第5木曜日・23日(金) **出張販売**  
毎週日曜日 **カラオケクラブ** **出張理美容**

朝晩の冷え込みが辛い今日この頃、寒さで緊張した身体を訪問入浴サービスのお風呂で温まり、ホコホコした身体でゆっくりにお休みください。夢の中で、春の足音を聞いてみるのはいかがでしょう！

お問い合わせ・お申込み

079-4520524

近藤



## 冬こそ入浴！ 訪問入浴サービス



- ・じゅうぶん休養する
  - ・しっかり食事をする
  - ・人混みへの外出を控える
- などもお忘れなく！

体調がおかしいと思ったときは、早目に看護職員までご連絡ください。



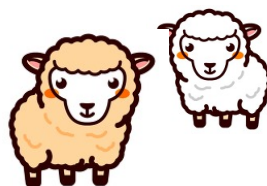
加古川地域では、インフルエンザが急激に増加、感染性胃腸炎の流行も続いています。(加古川医師会報告)

## インフルエンザが急増！ 加古川地域

未年生まれの方は、「穏やか、温かい、優しい、親切、正義感が強い、真面目」などと言われています。

養護	男性	1人	女性	11人
特養	男性	ゼロ	女性	12人
デイ	男性	4人	女性	6人

女性が圧倒的多数！  
最高齢は96歳！



## 鶴林園ご利用者の年男・年女



ひつじは群れをなして行動するため、「**家族の安泰**」を表すとされ、いつまでも**平和**に暮らすことを意味しています。**鶴林園はひとつの大きな家族です！**  
この一年、安泰、平和に恵まれ、健康で暮らすことができよう、笑顔・笑顔で助け合いましょ！  
**笑う門には福来たる！**

## 平成27年は「未年(ひつじとし)」です！

ら「信頼」という形でいただけていると感じます。

それは、我々の「責任感」の裏付けにもなっています。

(坂本) 鶴林園は養護老人ホームから始まり、47年の歴史を持つわけですが、福祉の中でもとりわけ**高齢者施設を取り巻く環境は目まぐるしく変化**しています。



特に、介護保険制度は改正に伴って複雑化し、更に社会環境とご利用者の意識についても10年前とは比べられないほど変わってきました。

歴史を作ってこられた先人の方々の努力を無駄にしないためにも、これから更に鶴林園の歴史をつなげて行くために、今まで以上に**地域に根差し、「幸福」を追求する人材**を育成することが必須となります。

(土屋) 今、人材育成というお話が出ましたので、「**事業所における育成とこれから求められる人材**」について考えをお聞かせください。

(福谷) 特養ではご利用者の「**やりたいこと叶えようプロジェクト**」があります。

ご利用者が「〇〇がしたい」と思うようなことを、職員がサポートして実現のお手伝いをするのですが、これは**職員一人ひとりが、如何にしてご利用者と向き合うか**という姿勢が重要です。

ご利用者のやりたいことを聞き、それを実現するためにご家族さんと相談し、さらに自分たちは何ができるのか、どういった手順で、どこで、誰と、何を決めればいいのか？ 一つひとつの工程に

まずは「**鶴林園47年の歴史から振り返ると共に、現在の鶴林園の立ち位置**」について一言ずつご意見をいただきたいと思っています。

(田中) 養護は、老人福祉法と共に歩んできました。

昔も今も「福祉」の先にある「**幸福(しあわせ)**」を考え、大切にしてきました。

ご利用者のみでなく職員も含めて幸せになるために必要な「**思いやり**」や「**礼儀**」を唱え続けてきたところが養護の歴史だと思います。



(福谷) 特養に入園される方、またそのご家族からよく「**鶴林園に入ることができれば安心だ**」とか「**鶴林園は丁寧に対応してくれる**」といったお褒めの言葉を頂戴します。



我々としては非常に励みになるありがたいお言葉ですが、それは**今まで勤務されてきた方々が鶴林園としての仕事をきちんとしてきて、その積み重ねが今日の鶴林園を作り上げてきた証**だと思います。

今働いている我々もそれを絶やさぬよう伝統として繋げて行かねばならないと重責を感じています。

(三村) 創立者は47年前に、思いやりと高い志しを持って鶴林園を創られました。



その思いは先代の理事長、現理事長に引継がれており、我々職員にも引継がれています。

卓越した先見性を持って、**ご利用者のための事業を先駆的・積極的に展開**してきたわけですが、その結果が**現在、地域の方々やご利用者の方々か**

## 新春放談 鶴林園創立50周年に向けて 「事業所キーマンが語る」

日時 平成26年12月25日(木) 養護会議室にて  
出席者 養護:田中次長、特養:福谷次長  
居宅介護支援センター:三村センター長  
地域包括支援センターかこがわ西:坂本センター長  
事務局:土屋部長(司会)

(土屋) 今回は新春放談「夢を語る～鶴林園創立50周年に向けて」というテーマで経営戦略会議のメンバーに集まっていたいただきました。

経営戦略会議は平成25年10月に発足、**中長期的視野に立って法人全体の経営に対して戦略を立案する機関**と位置づけ活動しています。

内容は鶴林園の50年後の未来、また10年後のビジョン、3～5年後の経営計画というマクロな分野と、実際に各職場で顕在化している課題、これは人・物・金・情報といった経営資源の問題から、ご利用者に対するサービスの問題までをミクロの分野として幅広く対策を検討しています。

その結果は経営会議への提案という形になったり、理事長や施設長への個別提案という形になったり様々です。

この1年2か月、様々な話をして、実際にはまだ話し足りない、また具体的に実現できていないことも多いわけですが、本日の座談会という機会をいただきましたので、改めて活動を振り返りながら経営戦略会議として意見を発信したいと思っています。

そのものの幸福」でもあります。

(福谷) どんなに時代が進んでIT化により介護ロボットや器械が入ってきて効率化がされても、人との関わりは変わりません。

施設の職員は、人との関わりが好きな人ばかりですから、**人との関わりを大事にすることが「幸福」実現のための必須条件**だと思います。

そういう施設でありたいと思います。

(田中) いつの時代も**「心」を大切にできる施設**を目指したい。我々の仕事は、ご利用者との**「心の繋がり」**を感じる。人は、人との関わりの中でしか本当の**「幸福」**を感じる**ことができない生き物**です。だから、**福祉というものは「幸福」の追求**である、ということを様々な人に伝え、我々が実践していかないとご利用者も施設も**「幸福」**になれないと考えています。

(土屋) まだまだ話は尽きませんが、今回は皆さんの広いご意見を伺うことができました。ありがとうございました。

### 五つの幸福(しあわせ)

1. 施設のサービスを受ける人
2. 施設の事業活動の成果物を受ける人
3. 施設を取り巻く地域
4. その施設で働いている人
5. 施設そのもの

(坂本) 特養のプロジェクトは、今は特別な行事となっていますが、それが普通の業務の中で、普通のこととしてご利用者とのコミュニケーションをとることができるようになると、ご利用者やご家族は安心されるでしょうね。

職員もご利用者と接することがやりがいになるでしょうし、自分の仕事に対する価値も上がるでしょう。

(土屋) 鶴林園では、理事長が**「五つの幸福」**ということをお話されます。今までの中で**「幸福」**について具体的な事例をお話しいただきました。

今後、鶴林園がこの**「幸福」**を実現するために、将来どのような取り組みをすべきか？ 事業所責任者の立場からお聞かせください。

(三村) ご利用者はいろんな**「不安」**を感じておられます。それは、人それぞれなんです、**様々な「不安」を取り除く施策**を事業として取り組むことが必要だと考えます。それがご利用者・ご家族・職員・地域・施設の**「幸福」**を実現することに繋がると思います。

(坂本) 地域か施設かという議論ではなく、施設は地域の中の資源であり、地域も施設を活用できる仕組みが必要だと思います。

地域の町内会との対話や気軽に話ができる関係性を持つこと、職員自身も町内会との関係性を持ち、ご利用者にも町内会との関係性を持つことができるように職員がコーディネートする、そういう関係性を持つことが、これからの地域包括ケアシステムの考え方になると思います。

それができると、**「地域から頼りにされる施設」**になると思いますし、それが**「施設**

意味があり、思いやり・コミュニケーションが必要です。

また実現後、**ご利用者と「幸せ」を共感できるかどうか**が重要と考えています。共感できた時、非常に実践的な育成方法となり得ることがあります。

**ご利用者を自分の「家族」と感じる**ことができるかどうか、これは一つのポイントだと思います。

(坂本) 福祉を職業とする人はもともと高い志しと思いやりの気持ちを持って就職してきます。働く中で**「やりがい」**と**感じる**ことができるのは、多くが**「ご利用者の幸せ」を「自分の幸せ」と感じる**ことができるかどうかだと思います。

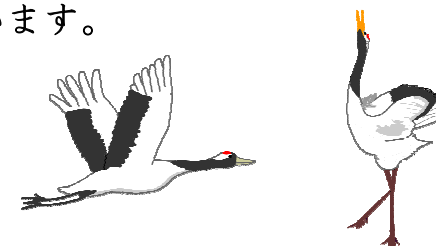
ご利用者の笑顔を見て、自分が**「嬉しい」**と思えることが、この仕事をしていて一番の喜びですし、この仕事の醍醐味でもあります。

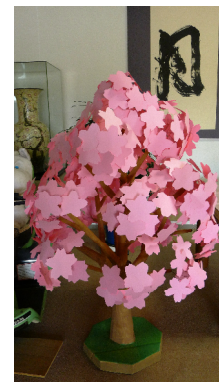
(三村) 単に**「△△に連れて行ければいい」「△△を食べられればいい」**ということではないですね。

その過程の一つ一つでどれだけ相手の気持ちを察し、引き出すことができるかが大事だと思います。

ケアマネジャーは、加えて**「自分はあなたのために全力を尽くしますよ」**という**気持ち**を持つことが、一つ一つの業務を丁寧にすることであり、それがご利用者からの**「信頼」**という形に変わります。

それを理解できる人材を育成するように努めています。





平成26年 鶴林園フォトアルバム (養護老人ホーム 抜粋)

# 園 是

- 一 思いやりしましょう
  - 同じ目線の共感・感謝で  
心のふれあい・まごころ交流
- 一 あいさつしましょう
  - 笑顔で 目と目の  
活発コミュニケーション
- 一 心のよりどころを持ちましょう
  - 強い信念・使命感で  
日々挑戦・日々前進



社会福祉法人 鶴林園



# クリスマス会



## デイ・センター



Merry Christmas!

ご利用者による  
ハンドベル演奏や  
プレゼント争奪  
ビンゴゲームなど、  
アツと言う間の  
1時間でした。

今年も厳かな雰囲気  
でキャンドルリレー。  
願い事を思い浮かべ  
ながらメリークリスマ  
スの掛け声でキャンド  
ルを吹き消していた  
だきました。



## 養 護

ご利用者と職員による聖歌隊のキャンドルサービスで開会。  
ケーキタイム、職員のトーンチャイム演奏、サンタとトナカイに  
よるプレゼント抽選会〜皆さん、今年も楽しく過ごされました。



栄養士手づくり  
の可愛い  
サンタケーキ



雰囲気満点！  
食堂南庭の  
イルミネーション



## デイ・センター12月プログラム から



しめ縄づくり



クリスマス壁画



落花生や大根の収穫  
(ふれあい農園)



絵手紙

鶴林園デイ・センターでは、多彩なプログラムを  
用意し、ご利用はもとよりご家族のご見学を  
お待ちしております。

## 編集後記

新年明けましておめでとうございませう。  
新年を迎え心改まる思いですが、これから新年度を  
迎える4月まで、また大忙しの時期に入ります。  
年度の締めと新年度計画の作成等々、いろいろと考  
協議を重ねて準備をしてゆかなければなりません。  
特に今年には介護保険制度の改正が行われる年でも  
あり、皆様方のご理解とご協力が必要となります。  
絆を大切に、少しでもお力になることができ喜んで  
いただける福祉を目指して、職員一同  
頑張りますので、今年もどうぞよろしく  
お願い致します。

(典)



## 特 養

今年は、腹話術の「春風小イチ  
ロー」様と南京玉すだれの「夢ふく  
ふく」様が来園、クリスマス会を盛り  
上げてくださいました。



歌が大好きな音楽セラピー  
クリスマスソングや楽器で  
ワイワイ！ 楽しく！

アニマルセラピー「グリーン  
ピースわんにゃん訪問隊」も  
クリスマス衣装で勢揃い！